

新古今
歳時記

平成 27 年 7 月

戦前の歳時記の様子を紹介した故林鼓浪の連載をもとに、昔懐かしい行事など、現在と比べながら、話題のイベントを紹介していきたい。
7月と言えば、梅雨が明ける季節。美波町の田井ノ浜海水浴場の海開をかわきりに、剣山の例大祭など、海や山において、祭とイベントが徳島県内いたる場所で、活気づく！



写真：田井ノ浜海水浴場

7月	新暦・旧暦	雑節・祝日	祭・イベント	季節の風物詩
1 水	つちのえ 四緑友引	全国安全週間 三りんぼつ		集中豪雨の時期 ひまわり咲きはじめる セミ鳴きはじめる
2 木	つちのえ 三碧先負	はんげしよつす 半夏生		ヤマユリ咲きはじめる
3 金	かのえ 二黒仏滅			ナス実る
4 土	かのと 一白大安			トマト実る
5 日	みずのえ 九紫赤口		5日 井上神社祭り (海陽町日比原) 5日～8月23日 田井ノ浜 海水浴場開き (美波町)	カエル鳴く
6 月	みずのと 八白先勝			梅雨が明ける時期
7 火	きのえ 七赤友引	小暑		メロン実る
8 水	きのと 六白先負	あつがせいたる 温風至		サルスベリ咲きはじめる
9 木	ひのえ 五黄仏滅			
10 金	ひのと 四緑大安			
11 土	つちのえ 三碧赤口			
12 日	つちのえ 二黒先勝	はすはじめてひく 蓮始開	12日 轟夏祭り (海陽町平井)	
13 月	かのえ 一白友引	ぼん迎え火		

※掲載のイベントなどの情報は変更になる場合もありますので、ご了承ください。

昔

64年前の連載より

阿波の言葉で、ながせ、とい
う雨期があけると、山に海に涼
をおう七月の行事がくり展げら
れる。徳島市では廿五日の天神
祭をあてに納涼が計画され中ご
る橘町、新市街に生れ変わった小
松島市の港祭があり昨年は鳴門
の渦祭も挙行されたようだ。

ところで夏の納涼々々といえ
徳島の中心を帯のように水面を
埋める船渡御のにぎわしさであ
る。萬燈のあかりやかぐりの火で
夏の夜空をこがした火の祭もな
つかしい昔の夢であり、十日から
の祇園会にしても眉山の風刺は
こわされ、寺町へかけての雑と
はもう見られない。

農村では植つけの忙しさがす
んで、ホツとすると、土用の入
りが廿日になる。昔は県下所々に
虫送りの行事があった。これは明
治初年の話だが、板西方面から
林町つまり岩津の淵まで捕った虫
を村から村へ送り渡して行く途
中で馬の背に乘せて運んだとい
う大変な話をきかされたが、こん
な大がかりな虫送りは現在絶え
てしまった。

阿波の七月はさわやかな緑に
おおわれた深谷美を求めて祖谷

や歩危を探勝するシーズンであ
るところへ、剣山が山開きと祭典
をかけてにぎわう。だいたい十五
日ごろから白衣姿をした行者の
群が、吹きならすホラ貝の音をこ
だまさせて続々と登山し、実際見
ているとハラハラするような険
しい急坂を、ミシシに綱をつけひ
つ張り合って荒れ回る。

お山の行をすまして帰る先達
の人に体をまたいでもらって、夏
病みをせぬという俗信から行者
の姿が見えるところまみれでつ
つづせになり、つぎつぎに行者が
またいで通る。こんな奇習が明治
時代に行われていたのであった。



写真：ホラ貝をふく井上正さん（見ノ越・劔神社）

昭和26年7月 徳島新聞連載
阿波歳時記 七月の巻より抜粋
著者：絵師郷土芸能研究家
林鼓浪 はやしこうつ

(1887-1965)

31 金	30 木	29 水	28 火	27 月	26 日	25 土	24 金	23 木	22 水	21 火	20 月	19 日	18 土	17 金	16 木	15 水	14 火
一白先負 つちのえ さる 旧 6.16	二黒友引 ひのと ひつじ 旧 6.15	三碧先勝 ひのえ うま 旧 6.14	四緑赤口 きのと み 旧 6.13	五黄大安 きのえ たつ 旧 6.12	六白仏滅 みずのと う 旧 6.11	七赤先負 みずのえ とら 旧 6.10	八白友引 かのと うし 旧 6.9	九紫先勝 かのえ ね 旧 6.8	一白赤口 つちのと い 旧 6.7	二黒大安 つちのえ いぬ 旧 6.6	三碧仏滅 ひのと とり 旧 6.5	四緑先負 ひのえ さる 旧 6.4	五黄友引 きのと ひつじ 旧 6.3	六白先勝 きのえ うま 旧 6.2	七赤赤口 みずのと み 旧 6.1	八白仏滅 みずのえ たつ 旧 5.30	九紫先負 かのと う 旧 5.29
満月					土用の丑 きりはじめはなをむす 桐始結花					海の日・土用 (立秋前日までの十八日間)					新月		
土潤海暑 三りんぼう					大暑					やぶ入り 国土交通デー 鷹乃学習 三りんぼう					勤労青少年の日		



16〜17日 六喰祇園祭り (海陽町六喰)	17日 大劔神社例大祭 (劔神社)	19日 ひわきつみかめ トライアスロン(美波町)	19日 劔山山頂大祭 (劔山本宮劔神社)	19日 貞光ぎおん夏まつり (貞光中学校グラウンド)	〜26日まで 開館25周年記念 所蔵作品展(県立近代美術館)
いろいろな流星群現る		コオロギ鳴きはじめる		スイレん咲きはじめる	

今
虫送り・劔山

故林鼓浪の連載「阿波歳時記」の七月分を右頁に紹介した。夏本番を前に、祭りで賑やかになる季節、徳島市内では祇園まつり、農村では「虫送り」があったと綴られている。鼓浪が掲載した昭和26年ごろ、すでにこの習慣は途絶えているとあるから、その内容について取材をすることは困難かと思したが、いろいろ調べると、今でもひそかに続いている地区もあるようだ。たとえば、海部川下流の地区では、田植えを終えたこの時期「虫送り」の行事をしているという。住民が寺に集まり、住職による読経をした後、道具を持ち、竹筒に集めたカメムシなど稲の害虫を入れ、一列になって、広場や水田の畦道を廻り、「サイト」ベット「ウツェントン イネノムシー トサヘイケー」などと唱え最後、海部川の川原で道具を流すらしい。とりあえずこの掛け声は、虫を殺さず、高知へ送るというシナリオらしいが、逆に高知の人々は、徳島へ送る文句があるかもしれないと思うと、微笑ましい。

また、鼓浪は劔山の行者の姿



取材デザイン編集
上野昇 (ののちゃん)
四国大学
生活科学部講師

劔山・例大祭

- 大劔神社例大祭
7月17日(金)10時30分〜
劔神社(見ノ越)にて
- 劔山山頂大祭
7月19日(日)11時〜
劔山本宮劔神社(山頂付近)にて

も記載している。今年も7月17日(金)に劔山の劔神社の例大祭が里宮の劔神社に執り行なわれる。そして19日(日)は頂上付近の劔山本宮劔神社の大祭が開催予定とのこと。都合合えば、ぜひ参加してみよう！



写真：劔山山頂での神輿（山頂・劔山本宮劔神社）